

# 第 59 期 決算 公 告

2022 年 6 月 20 日

愛知県犬山市大字犬山字富士見町 16 番地の 2

株式会社名鉄犬山ホテル

代表取締役 岩瀬 正明

## 貸借対照表

(2022 年 3 月 31 日現在)

(単位：円)

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	<b>94,057,995</b>	<b>流動負債</b>	<b>2,298,094,112</b>
現金及び預金	5,600,328	買掛金	10,987,672
売掛金	47,721,233	短期借入金	2,247,450,504
未収金	13,349,327	未払金	22,766,796
商品	619,594	未払法人税等	856,500
原材料	3,359,675	未払費用	11,542,223
貯蔵品	3,321,260	預り金	1,754,617
前払費用	20,060,682	賞与引当金	1,944,600
その他流動資産	25,896	契約負債	791,200
<b>固定資産</b>	<b>440,092,527</b>	<b>固定負債</b>	<b>50,474,650</b>
有形固定資産	<b>155,512,508</b>	退職給付引当金	39,599,650
建物	3,324,393	その他固定負債	10,200,000
機械装置	3,887,191	役員退職慰労引当金	675,000
器具備品	48,223,929		
土地	99,548,965		
建設仮勘定	528,030		
無形固定資産	<b>13,924,805</b>	<b>負債合計</b>	<b>2,348,568,762</b>
ソフトウェア	13,924,805	<b>純資産の部</b>	
投資その他の資産	<b>270,655,214</b>	<b>株主資本</b>	<b>△1,803,439,349</b>
投資有価証券	119,056,818	資本金	100,000,000
出資金	130,000	資本剰余金	200,000,000
差入保証金	150,474,076	資本準備金	200,000,000
その他の投資	994,320	利益剰余金	△2,103,439,349
		利益準備金	41,400,000
		その他利益剰余金	△2,144,839,349
		繰越利益剰余金	△2,144,839,349
		<b>評価・換算差額等</b>	<b>△10,978,891</b>
		その他有価証券評価差額金	△10,978,891
		<b>純資産合計</b>	<b>△1,814,418,240</b>
<b>資産合計</b>	<b>534,150,522</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>534,150,522</b>

# 個別注記表

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

## 1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### ① 有価証券の評価基準及び評価方法

関連会社株式・出資金 移動平均法による原価法

その他有価証券

市場価格のある有価証券 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法に算定しております。）

市場価格のない有価証券 移動平均法による原価法

### ② 棚卸資産の評価方法及び評価基準

商品、原材料、貯蔵品 最終仕入原価法

(収益性の低下に基づく簿価引下げの方法により算定)

### ③ 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法

無形固定資産 定額法 尚、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

### ④ 引当金の計上基準

賞与引当金 従業員の賞与の支給に充てるため、支給対象期間に応じた支給見込額を計上しております。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務、及び年金資産の見込額に基づき、退職給付会計に定める簡便法により計上しております。

役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

### ⑤ その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

消費税等の会計処理 税抜き方式によっております。

## 2 会計方針の変更に関する注記

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、ポイント制度に係る会計処理については、従来売上原価として計上する方法によっておりましたが、売上から控除する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第 84 項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当事業年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当事業年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当該事業年度の売上高及び売上原価はそれぞれ 2,306 千円減少しましたが、営業損失、経常損失、税引前当期純損失に与える影響ありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響もありません。

収益認識会計基準等の適用により、前事業年度の貸借対照表において「流動負債」に表示していた「前受金」は、当事業年度より「契約負債」として表示しております。

## 3 貸借対照表に関する注記

### ① 有形固定資産の減価償却累計額

建物	111,007 千円	(減損累計額	102,129 千円	含)
構築物	3,195 千円	(減損累計額	2,471 千円	含)
機械装置	30,195 千円	(減損累計額	23,196 千円	含)
車両運搬具	4,492 千円	(減損累計額	265 千円	含)
工具器具備品	109,795 千円	(減損累計額	71,390 千円	含)
合 計	258,686 千円	(減損累計額	199,453 千円	含)

### ② 関係会社に対する債権債務

(千円)

項 目	金銭債権		金銭債務	
	貸付金	計	借入金	計
(株)名鉄ホテルホールディングス	-	-	2,130,000	2,130,000
合 計	-	-	2,130,000	2,130,000

## 4 関連当事者との取引に関する注記

(単位 千円)

会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金	事業内容	議決権等の 所有割合	関連当事者 との関係	取引内容	取引金額	科目	期末残高
名古屋鉄道株	名古屋 市	1,011 億 5,800 万円	運輸業	間接100%	役員の兼任 資産の貸借	資産の貸借	94,748	前払費用	17,345
(株)名鉄マネジメントサービス(注)	名古屋 市	100,000	金融業	0%	資金の借入	資金の貸付	-	短期貸付金	-
						資金の返済	-	短期借入金	117,450

(注)当社では、グループ内の資金を一元管理するキャッシュ・マネジメントサービスを導入しており、参加会社間で資金の貸借を日次で行っているため、取引金額は記載されておりません。

## 5 1株当たり情報に関する注記

- ① 1株当たりの純資産額  $\Delta$ 3,024 円 03 銭  
 ② 1株当たりの当期純損失 532 円 84 銭

## 6 当期純損益金額

当期純損失 319,704,335 円